令和７年度（令和７年４月～令和８年３月）

津幡町決算報告



決算は皆さまが納めた税金などがどのように使われたのかを知ることができるとても大切なものです。
内訳や用語などで不明な点がありましたら、お気軽にお問い合わせください。

問合先　財政課 ☎288-2129

各会計の決算額

（万円）

会計名		歳入 ①	歳出 ②	差引 ①-②=③	翌年度繰越額 ④	実質収支 ③-④=⑤	前年度実質収支 ⑥	単年度収支 ⑤-⑥=⑦	基金増減額等 ⑧	実質単年度収支 ⑦+⑧=⑨
一般会計		2,101,810	2,040,178	61,632	13,465	48,167	35,087	13,080	△ 8,125	4,955
特別会計	国民健康保険	346,789	340,195	6,594	0	6,594	3,583	3,011	△ 4,267	△ 1,256
	後期高齢者医療	56,532	55,389	1,143	0	1,143	1,126	17		17
	介護保険	314,901	312,216	2,685	0	2,685	4,215	△ 1,530	△ 368	△ 1,898
	バス事業	16,581	15,549	1,032	0	1,032	1,070	△ 38		△ 38
	河合谷財産区	18	18	0	0	0	0	0	△ 16	△ 16
	小　計	734,821	723,367	11,454	0	11,454	9,994	1,460	△ 4,651	△ 3,191
合　計		2,836,631	2,763,545	73,086	13,465	59,621	45,081	14,540	△12,776	1,764

事業会計の決算額

（万円）

会計名	収　入	支　出
病院事業		
収益的収支	144,999	149,119
資本的収支	6,200	9,815
水道事業		
収益的収支	86,527	77,044
資本的収支	13,968	39,573
下水道事業		
収益的収支	152,093	132,011
資本的収支	131,950	192,467

上の表は、町の各会計決算の一覧表です。

町では、手持ち資金である「実質収支⑤」の額が赤字にならないように計画的に運営しています。なお、歳入（収入）が不足する場合は、基金（町の預貯金）を取り崩して対応しています。

そのため、基金による調整を除いた「実質単年度収支⑨」がその年度の純粋な収支となります。

▽一般会計

広く町民のために実施される事業に使われ、町財政の中心を担うものです。

令和７年度末では、手持ち資金が４億８，１６７万円となり、前年度と比べて１億３，０８０万円増えました。しかし基金を８，１２５万円使ったので、実質的には４，９５５万円の黒字となりました。

町では、さまざまな試算を行い、今後予定している事業を含め、中・長期的な視野を持って財政運営しています。

▽特別会計

国民健康保険や介護保険など、特定の目的・人を対象に実施する事業に使われます。収支を明確にするため、一般会計とは別に経理します。

▽事業会計

収益をあげて運営する事業に使われ、現金収支に加えて資産状況も計上することで、収支状況をより明確にすることができます。

上の「事業会計の決算額」の「収益的収支」は事業の運営状況を、「資本的収支」は施設の整備状況を表しています。

各事業で経営改善に取り組んでいますが、令和７年度の収益的収支は、病院事業において入院患者の減少などにより赤字となりました。各事業の資本的収支の不足額は、現金支出を伴わない減価償却費などの留保資金で補填しました。

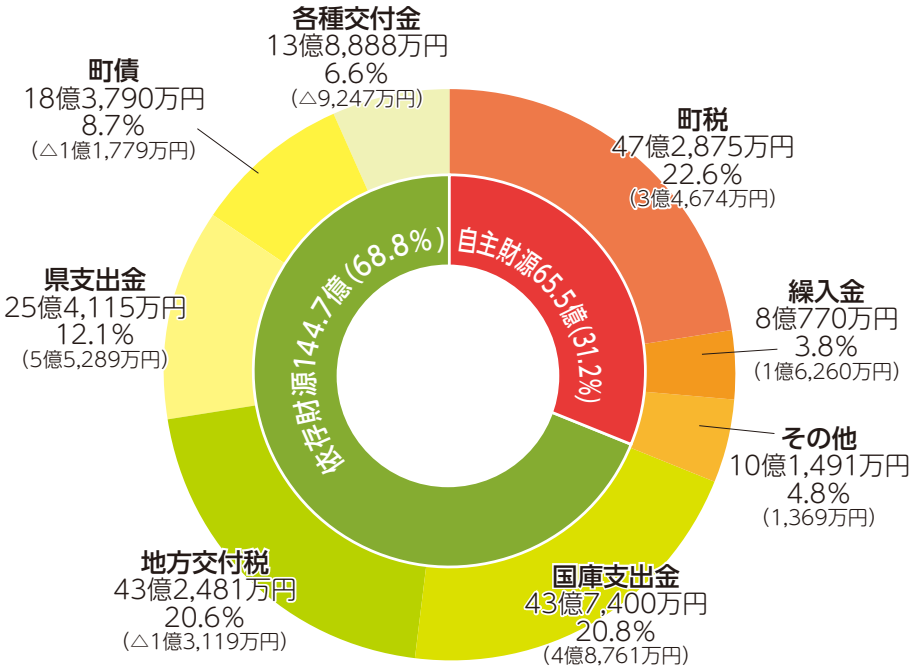
一般会計［歳入］

前年度と比較すると、歳入全体は増加となりました。

自主財源ではすべての科目で増

歳入210億1,810万円
（12億2,211万円）

※（　）内の数字は、前年度比の増減額



加となり、特に「町税」は定額減税の終了により増、「繰入金」は一時的な資金不足に対応するため、財政調整基金の繰入額が大きくなっています。

依存財源では、令和５年７月豪雨（以下、豪雨）及び令和６年能登半島地震（以下、地震）に係る災害復旧事業費などにより「国庫支出金」「県支出金」が増加となりました。一方、「地方交付税」「町債」は減少しましたが、その主な要因は、特別交付税の減と、地震に係る公費解体など災害復旧関連の地方債の発行減によるものです。

一般会計［歳出］

前年度と比較すると、歳出全体は増加となりました。

増加の主な科目とその要因として、「民生費」は私立認定こども園など運営費の増、「総務費」は能登半島地震復興基金積立金や自治体システム標準化への対応費の増、「教育費」は小中学校の照明器具LED化事業費の増、「災害復旧費」は豪雨及び地震により被災した道路や農地などの復旧事業費の増、「商工費」は商工業振興促進助成費の増などが挙げられます。減少の主な科目とその要因として、「衛生費」は地震に係る公費解体費や地球温暖化対策費の減、「消防費」は地震に係る防火水槽の修繕費の減などが挙げられます。

歳出　204億178万円
（12億7,828万円）

65億1,395万円　31.9%（6億3,578万円）	民生費	老人福祉、障害福祉、保育などに使われます。
27億3,498万円　13.4%（1億6,037万円）	総務費	戸籍や選挙、徴税などに使われます。
25億2,981万円　12.4%（3億449万円）	教育費	教育、文化、体育施設の充実に使われます。
20億7,322万円　10.2%（1億3,344万円）	土木費	道路・公園・河川の建設管理、都市整備などに使われます。
17億6,817万円　8.7%（2億3,806万円）	災害復旧費	災害被害を復旧するために使われます。
15億5,797万円　7.6%（6,377万円）	公債費	町の借入金返済に使われます。
12億5,044万円　6.1%（△4億1,008万円）	衛生費	町民の健康増進、ごみ処理などに使われます。
8億942万円　4.0%（9,988万円）	農林水産業費	農地・農道・林道整備などに使われます。
5億4,997万円　2.7%（1億3,308万円）	商工費	商工業や観光の振興に使われます。
4億4,977万円　2.2%（△7,521万円）	消防費	消防・救急活動の運営や管理に使われます。
1億4,612万円　0.7%（120万円）	議会費	議員報酬などの議会運営に使われます。
1,796万円　0.1%（△650万円）	労働費	勤労者に対する金融支援などに使われます。

町民１人あたり
年間544,803円 の
お金が使われました



※令和８年３月末日人口　37,448人で算出

町債（借金）と基金（預貯金）
町債は増加、基金は減少見込み

町では、道路などの公共施設を整備する際には、一時的に多額の資金が必要となるため、現在の財政状況を圧迫させることのないよう、借り入れを行っています。また、道路や施設は、長期間にわたって利用されるものですので、子や孫の世代にも「借入金の返済」という形で公平に負担してもらう役割もあります。

一般会計の町債残高は増加、事業会計の残高は減少し、合計では減少となりました。

また、財源不足や大規模災害などの不測の事態に備えて「財政調整基金」の積立をしています。「財政調整基金」は令和3年度から残高が増加していますが、今後は近年実施した屋内温水プール整備などの大型事業及び災害復旧事業のために借り入れた町債の元金償還開始により、残高は減少していくと見込んでいます。

今後も、現在と将来のバランスを見きわめながら、計画的に借り入れを行っていきます。

町債年度末残高の内訳

会計名	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
一般会計	166億9,825万円	170億4,042万円	174億3,567万円	179億7,855万円	183億6,296万円
バス事業	4,318万円	5,624万円	5,559万円	5,015万円	5,312万円
病院事業	1億8,895万円	2億8,133万円	2億7,291万円	2億4,628万円	2億2,174万円
水道事業	23億4,912万円	22億9,327万円	21億7,252万円	21億6,345万円	20億6,596万円
下水道事業	122億319万円	118億8,898万円	112億7,391万円	109億4,051万円	105億9,616万円
合　計	314億8,269万円	315億6,024万円	312億1,060万円	313億7,894万円	312億9,994万円

基金年度末残高の内訳

基金	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
財政調整基金	17億5,223万円	21億2,260万円	21億6,564万円	23億3,858万円	24億3,733万円
減債基金	1億4,304万円	1億4,314万円	1億8,122万円	2億804万円	1億8,343万円
その他特定目的基金	1億9,424万円	1億9,192万円	2億1,053万円	3億3,684万円	4億7,288万円
合　計	20億8,951万円	24億5,766万円	25億5,739万円	28億8,346万円	30億9,364万円

津幡町の財政は健全？
健全化判断基準

財政健全化判断比率とは、町の財政が健全であるかを判断するための指標です。この数値が国の示す「早期健全化基準」を超え、さらに「財政再生基準」も超えると、財政破綻したとみなされます。

下表のとおり、令和7年度末の津幡町の比率は、実質公債費比率が7.0%、将来負担比率が71.1%、そのほかの比率は赤字額や資金不足額がないため表示されません。いずれも国の基準を下回ることから、町の財政は「健全」と判断されます。

今後も、将来の財政負担を見据えた健全な財政運営につとめていきます。

津幡町民の皆さまへ

津幡町の財政状況は
「健全」です



津幡町の各指数と国の基準指数

（%）

指標		説明	津幡町 令和5年度	津幡町 令和6年度	津幡町 令和7年度	早期健全化基準	財政再生基準
健全化判断比率	実質赤字比率	一般会計などの赤字額から、財政運営の深刻度を見る	—	—	—	13.41	20.00
	連結実質赤字比率	全ての会計の赤字額から、財政運営の深刻度を見る	—	—	—	18.41	30.00
	実質公債費比率	借金の返済額などをもとに、資金繰りの危険度を見る	7.5	7.4	7.0	25.0	35.0
	将来負担比率	将来的に負担すべき額の大きさから、将来の財政への圧迫度を見る	77.6	76.1	71.1	350.0	
資金不足比率		簡易水道・病院・水道・下水道会計の資金不足額から、経営状況の深刻度を見る	—	—	—	20.00	

※赤字額・資金不足額が発生しない場合は、数値化されません

快適で安全・安心を実感できるまち

下水道整備費（管渠工事、浄化センター更新工事など）	9億2,522万円
津幡駅東口整備事業費（自由通路整備工事費など）	5億2,948万円
道路整備・管理費（町道・橋梁の整備、維持管理など）	3億102万円
除雪対策費（除雪業務、消雪装置整備など）	2億8,146万円
ごみ処理費（収集・処分・撤去、つばたReco管理など）	2億5,990万円
定住促進事業費（住宅取得等奨励金、結婚祝品など）	1億4,338万円
町営バス運営費（町営バス購入、町営バス・のるーと津幡の運行経費など）	1億3,394万円
指定避難所等防災機能整備事業費（文化会館シグナスや公民館のWi-Fi整備、トイレカー購入など）	5,680万円
消防施設管理・整備事業費（小型ポンプ更新配備、消防分団車庫改修など）	3,523万円
地域防災力向上事業費（防災啓発動画及び防災ポータルサイト制作）	1,576万円



防災情報がこれ一つに「町防災ポータルサイト」

地域の魅力を磨き 交流と活力が生まれるまち

商工振興費（つばた元気応援プレミアム商品券、中小企業支援、商工会運営費補助、つばたお店巡りマラソン実施、つばたまつり運営など）	3億3,791万円
農地費（土地改良施設整備など）	2億3,593万円
農業振興費（農業従事者への支援、農業振興対策など）	2億2,183万円
林業振興費（町合併70周年記念事業「つばたファンフェスタ」開催、鳥獣捕獲事業、森林保全対策など）	7,828万円
倶利伽羅塾整備事業費（浴室周辺の天井などの内装・ボイラー・エアコン改修）	4,215万円
地球温暖化対策費（カーボンニュートラル加速化事業補助金）	3,045万円
観光費（町合併70周年記念事業「つばた森じかんin石川県森林公園」実施、観光の宣伝・推進、観光地管理など）	2,264万円



石川県森林公園の魅力を発信「つばたファンフェスタ」

笑顔があふれ 誰もが元気に暮らせるまち

児童保育運営費（町立認定こども園の運営、民間保育施設への負担金・補助金など）	21億8,870万円
障害福祉費（医療費一部助成、介護・訓練サービス利用支援など）	12億7,001万円
学童保育・運営費（全16放課後児童クラブの運営委託、津幡小校区における新クラブ整備など）	2億1,407万円
予防接種費（定期予防接種、インフルエンザ予防接種など）	1億9,167万円
子ども医療給付費（18歳年度末までの保険診療の自己負担分を全額助成）	1億7,087万円
老人福祉費（長寿祝品、福祉バス運行、ウェルピア倉見管理など）	7,162万円
母子保健事業費（妊婦・乳幼児の無料健診、不妊治療費助成、妊産婦タクシー利用助成など）	6,226万円
がん検診費（各がん検診を集団と個別で実施）	4,682万円
河北中央病院の医療機器購入費（医用テレメータなどの購入）	2,896万円


津幡小校区に新クラブ「つばたっ子ハッピー」整備

未来を見つめ みんなで学び成長するまち

小・中学校管理費（施設維持、備品購入、給食管理など）	7億1,993万円
体育施設管理費（スポーツ施設の管理、津幡運動公園・総合体育館・常設相撲場の改修など）	4億685万円
文化会館費（シグナス・図書館管理、自主事業、シグナス長寿命化改修工事など）	3億9,999万円
小・中学校高効率型照明器具整備事業費（全小中学校の照明器具のＬＥＤ化工事）	2億1,488万円
小・中学校情報教育推進事業費（パソコン・学習用ソフト整備など）	1億1,742万円
保健体育総務費（町合併70周年記念事業「令和７年春巡業大相撲津幡場所」開催、漕艇競技の普及・推進など）	4,669万円
中学校部活動支援費（部活動補助金、部活動指導員配置、大会派遣費補助など）	1,881万円
科学教育振興事業費（こども科学館管理、科学の祭典など）	1,824万円
中学生（海外）派遣事業費	914万円


地元力士がふるさと津幡に凱旋「大相撲津幡場所」

ともに支え 絆を深めるまち

地域コミュニティ活動推進事業費（コミュニティ助成事業補助金、コミュニティ施設補助金、公民館管理など）	1億995万円
選挙費（参議院議員通常選挙、衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査、石川県知事選挙）	6,060万円
広報費（広報つばた発刊、コミュニティチャンネル番組制作、町ホームページ・SNSの管理など）	2,627万円
社会福祉事業費（各地区住民主体の地域福祉活動推進、町地域福祉計画推進、社会福祉協議会補助金など）	1,883万円


地域コミュニティ活動の拠点「公民館」